

道原出身の河内飛行士愛機のプロペラが奉納されている西大野八幡神社



国道322号線そばに鎮座する東大野八幡神社は交通安全にご利益あり



蒲生八幡宮を頂点にすると、東大野八幡神社と西大野八幡神社と大きな二等辺三角形ができ、ちょうどその中に双葉苑が位置しています。付近には寺院もあり、神仏の加護を受けているような気がします。

あけましておめでとうございます

令和6年という新しい年を迎えることができたが、昨年未だに流行した新型コロナウイルスにより、残念ながら正月行事は中止になってしまいました。利用者様をはじめ、関係者一同の無病息災を祈願して蒲生八幡宮、西大野、東大野八幡神社に2日、お参りしてきました。

## ふたばよもやま話 (第十三回)

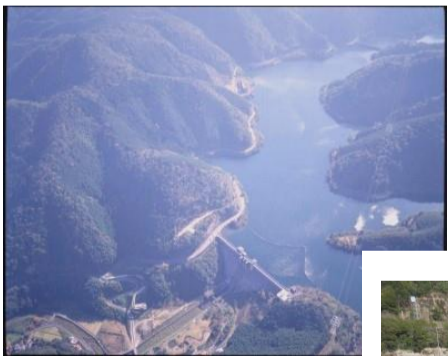
### ～鱒淵ダムと道原～

小倉南区にある鱒淵(ますぶち)ダムにしずんだ村があります。鱒淵ダムは1974年に完成した紫川上流にあたるダムで、双葉苑の苑外ドライブにも時々訪れる場所です。

1972年、道原地区がある頂吉の総戸数44戸、そのうち半分以上にあたる25戸が鱒淵ダムの水底に没しました。

元々ここには明治期にできた福智貯水池と1940年にできた頂吉水源池があり、終戦後、将来の水不足が懸念された北九州市の水不足対策のために2つの貯水池をのみ込むような形で建設されたのが現在の鱒淵ダムです。

道原地区は古い集落で、雨乞い祈願の豪壮な太鼓踊である道原楽は福岡県指定民俗無形文化財にも指定され、歴史の里と言えます。



鱒淵ダム全景  
～福岡県庁ホームページより～

利用者様と鱒淵ダムへ



**職員紹介コーナー**  
今回は、双葉苑介護職のマドンナ、祐徳さんに登場していただきます。祐徳さんは平家伝説で有名な宮崎県の出身で、自宅は民宿を営んでいるということ。利用者様からは「美鈴さん」で親しまれ、天性の明るさに加え、高校時代剣道で鍛えた根性で、テキパキと仕事をこなしています。剣道は一瞬の間の取り方が勝負を分けますが、祐徳さんの場合は身についたその機敏さで仕事に取り組んでいて、傍目からも頼もしく見えます。これからも利用者様の日々の生活のお手伝いをよろしく願います。



苑外ハイイクで引率中の祐徳さん



レクリエーション活動でも大活躍(クリスマス会の祐徳さん(左のトナカイさん))



双葉苑で使用された新年のしめ飾りを東大野八幡神社に奉納させていただきました。今年一年の弥栄と健康を祈り、どんど焼きで供養してくださいませ。

### 今月の予定 (2月)

- ますゆき皮膚科回診  
1日(木)
- 小倉北歯科回診(毎木曜日)  
1日、8日、15日、22日、29日
- 節分  
4日(日)
- 石橋医院回診(毎月曜日)  
5日、19日、26日
- 健康体操(毎木曜日)  
都合により当分の間、お休みします
- ビューティヘルパー  
21日(水)
- 生花  
21日(水)

【編集雑記】▼みなさんは沖繩と言え何を連想するだろうか？青い海、サンゴ礁、マリンスポーツ等々。若い人はこういったところと思うが、ある一定以上の年齢となれば、イの一番に戦争というワードが出てくるのとおもう▼私事で恐縮だが、縁あって沖繩のある人と知り合い、執筆という仕事を一緒にさせていた。また鉄道という同一の趣味から、随分とかわいがっていただいた▼「ゆたかはじめ」というペンネームを持つ石田さんは昭和3年東京で生まれ、その後裁判官という職業を永年続けられ、福岡高等裁判所長官、東京高等裁判所長官を歴任し、平成5年に退官した。平成12年には春の叙勲において勲一等瑞宝章を受けられた▼裁判官などという、硬い職業を想像しがちだが、ともかくユニークで気さく、さらにはたくさんさんの著作を持つ有名人であった▼現役時代の話はタブーであるが、ともかく鉄道が大好きで、日本のすべての国鉄路線を制覇するなど、その道の仲間内では名を知られた有名人であった▼年の取り方は人さまざまである。病気という不幸に見舞われ、心身が不自由になった方も多し。しかしゆたか先生は94歳まで現役で執筆活動や講演会を行い、最終期には自分の故郷である岡山県に出向かれ、終活まで自らの手で行い、昨年1月、沖繩にて眠るように息を引き取られた▼葬儀の末席に加わらせていただいたが、その時感じたことは、生きる力は好奇心であろうかと思う。やる気を起こせば心身ともに健康でいられ、長生きもできる▼入所者様にもやる気、そして好奇心を与え、生きる喜びや目標を提示することは一番大切じゃないかということ。▼みなさんも沖繩に遊びに行くことも多いと思う。当苑の入所者様と同年代の方が戦争で苦労されたことを少しでも考えていただくことが供養にもなるのではなからうか